

表面含浸材のひび割れ改質効果に関する検討

澤田 巧¹⁾, 福手 勤²⁾, 内藤 英晴¹⁾, 小笠原 哲也¹⁾, 酒井 貴洋¹⁾

A Study on the Effect of Crack Reforming of Surface Penetrants

Takumi Sawada¹⁾, Tsutomu Fukute²⁾, Hideharu Naitou¹⁾, Tetsuya Ogasawara¹⁾ and Takahiro Sakai¹⁾

■ 要 旨 ■

すでにひび割れが生じている既設構造物へのコンクリート表面含浸材の適用を想定し、幅が0.2mm程度のひび割れへ適用したときの、コンクリートの改質効果に関する実験を行った。その結果、模擬ひび割れを導入した供試体による試験では、シラン系、けい酸塩系とも十分な吸水抑制効果を有していることが確認できた。一方、ひび割れが発生している部材から採取した供試体による試験では、模擬ひび割れによる試験結果のような明確な関係は見られなかったものの、塗布後の撥水状況から、ひび割れ内部においても表面含浸材により改質されていることが確認できた。

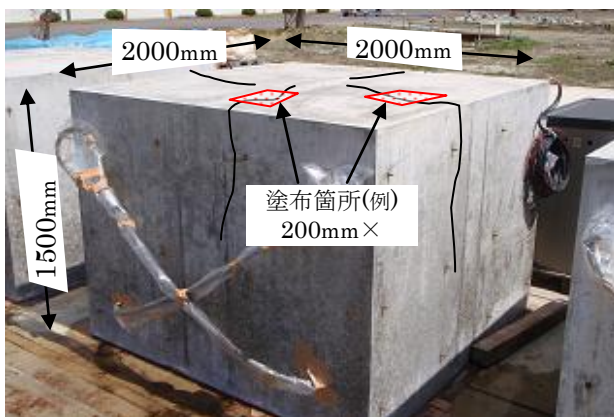


図-5 部材の形状

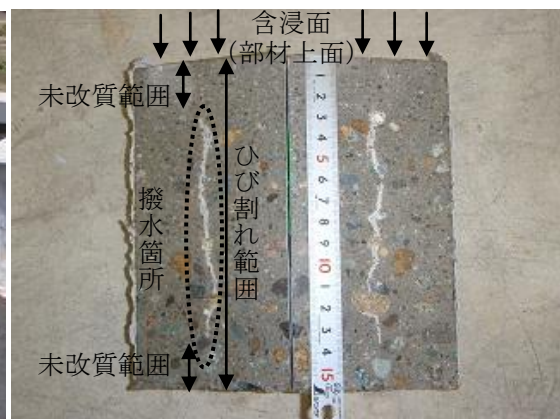


図-10 ひび割れ部の撥水状況

1) 技術研究所
2) 東洋大学理工学部都市環境デザイン学科 教授

*コンクリート構造物の補修、補強、アップグレード論文報告集
第10巻(2010) 日本材料学会, pp.413-418 掲載